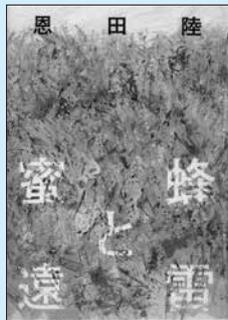


「音楽」を題材にした本 6月6日は楽器の日



「蜜蜂と遠雷」
恩田 陸 / 著



「音楽で生きる方法」
相澤真一 / 著
坂本光太 / 著
高橋かおり / 著
輪湖里奈 / 著



「音楽の肖像」
堀内誠一 / 著
谷川俊太郎 / 著

養蜂家の父とともに各地を転々とし自宅にピアノを持たない少年、かつての天才少女、サラリーマン…。ピアノコンクールを舞台に、人間の才能と運命、音楽を描いた青春群像小説。直木賞（2016年下半期）、第14回本屋大賞を受賞。
恩田陸氏は、1964年宮城県生まれ。「六番目の小夜子」でデビュー。「夜のピクニック」で吉川英治文学新人賞と本屋大賞、「中庭の出来事」で山本周五郎賞を受賞。

どうすれば音楽で生きていけるのか。20人以上の音楽関係者へのインタビューをもとに、音大受験、海外留学、卒業後の身の振り方など、音楽の道に進むなかで出会う出来事の順に沿って具体的に解説する。
相澤真一氏は、1979年長崎県生まれ。上智大学総合人間科学部准教授。高橋かおり氏は、1986年群馬県生まれ。立教大学社会情報教育研究センター助教。

バッハ、モーツァルト、ベートーヴェンから、ストラヴィンスキー、エリック・サティまで。堀内誠一が選んだ色彩豊かな28人の作曲家の肖像とエッセイに、谷川俊太郎が詩を添えた、宝石のような一冊。
堀内誠一氏は、1932年東京生まれ。企業広告や挿絵、絵本等を手がける。谷川俊太郎氏は、1931年東京生まれ。詩集、散文、翻訳など多彩なジャンルで活躍。読売文学賞、荻原朔太郎賞等を受賞。

6月の催しもの

とき	催しもの
7・14・21日(月) 午前11時～	あかちゃん絵本よみかかせ会
12日(土) 午後1時30分～ 午後2時30分～	夏のおはなし会 ※各回4組(要予約)
13日(日) 午前11時～ 午後3時～	子ども工作教室「父の日」のプレゼントをつくろう ※各回4組(要予約)
27日(日) 午前11時～ 午後3時～	子ども工作教室「七夕かざり」をつくろう ※各回4組(要予約)

※夏のおはなし会、子ども工作教室は6月2日(水)から図書館カウンターで予約受付
●蔵書と図書館システムの点検による休館
休館期間：6月29日(火)から7月9日(金)まで
◆展示会 河野すい氏「詩」展示会 6/5(土)～6/20(日)

その他の本

- ◆「クラシック名曲全史」 まつだ あゆこ / 著
松田 亜有子 / 著
- ◆「歴代作曲家ギャラ比ベ ～ビジネスでたどる西洋音楽史収入源、キャリア、借金歴～歴史に名を刻む作曲家たちのお財布事情を徹底調査!～」 やまね ころも / 著
山根 悟郎 / 著
- ◆「音楽が未来を連れてくる ～時代を創った音楽ビジネス百年の革新者たち～」 えのもと みきろう / 著
榎本 幹朗 / 著
- ◆「羊と鋼の森」 みやした なと / 著
宮下 奈都 / 著
- ◆「さよならドビュッシー」 なかやま しちり / 著
中山 七里 / 著
- ◆「永遠(とわ)をさがしに」 はらだ マハ / 著
原田 マハ / 著
- ◆「シューマンの指」 おくいずみ ひかる / 著
奥泉 光 / 著

俳句

「新茶汲む」

ふそう俳句会

ほんたうは羊羹が好き新茶汲む
水面打つ雨に飛び付く山女魚かな
梅雨湿り半紙に滲む試し書き

千田 一到
吉野 童子
堀江 恭子

川柳

扶桑川柳クラブ

テレワークおうち御飯に目が回り
歩行車も二台仲よく車庫の隅
八方を丸くおさめる軽い嘘

玉田 博子
猪野 和子
谷口 妙子

短歌

「池江選手」

ふそう短歌会

〈池〉も〈江〉も水滴らせ池江選手
スイマーとなる運命なる名か
透き通る青の紫陽花空の色
雲たちこめて空は見えねど
コロナ禍のオリンピックの開会は
皆の心に永久に残らん

小野寺紀美代
中山 幸代
松井みつ子

詩吟

「農士吟」

本宮 三香

月を踏み星を戴き耘り且耕す
人間食無くんば生きる能わず
豊蘆原の国は農を本とし
万世長く伝う瑞穂の名

「意」 朝早くから夕方遅くまで田畑で働く、これは昔から農家の姿。建国の昔から我が国は農業が根本とされ、瑞穂の国と称される。豈誇るべけんや。

正風流二代目家元 山内 正風